

平成 21 年号

 まちづくり応援団 えーる

もくじ

第1号

まちづくり応援団えーる活動開始報告、コアプラザかのオープン特集

第2号

ぶち元気がいいね！ フェスタ、劇団「わ」特集

第3号

コアプラザかのにバス停留所設置、ひと・もの探訪（花&喫茶さくや）、金峰の桜探訪

第4号

観光ボランティアガイド、ササユリとモリアオガエル特集

第5号

劇団「わ」特集

第6号

茅の輪くぐりと天神祭特集、かののむかしばなし（石船伝説）

第7号

鹿野の岩、かののむかしばなし（姫岩伝説）、ひと・もの探訪（農家レストランたぬき）

第8号

なつかしの学校展と鹿野の小学校特集

第9号

グラウンドゴルフ特集

第10号

鹿野の文化振興功労者特集

第11号

山代和紙特集

号外1

黄金井 脩さんライブ

号外2

町づくり話し合いのお誘い

号外3

地域デビューしよう！ イベントレポート

号外4～6

町づくり話し合いの報告

住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第 1 号 (平成 21 年 2 月 1 8 日発行)

今号のお知らせ

- ・ 「くちコミ」はじめました。 ～ところで、くちコミって何?～
- ・ コアプラザかのがオープンしました!
- ・ コアプラザかの ここが見どころ!

「くちコミ」はじめました。 ～ところで、くちコミって何?～

みなさん、こんにちは!

このたび、“町づくり応援団 えーる”の活動の一環として、地域のちょっとした情報を、文字通り「口コミ」的に取り扱う情報誌を作成することになりました。

さて、“町づくり応援団 えーる”って、いったいどういうもの?と思われるかもしれません。

町づくりというと、なんとなくのイメージはあるかと思いますがけれども、具体的に何をするかはそれぞれの団体によって様々です。

例えば、お祭りを企画したり、色々な勉強会をしたり、中には登山をしたり.....そうした活動も、広い意味では町づくりの一つ、と書いていいと思います。

この“町づくり応援団 えーる”略して“えーる”では、「紹介し、交流し、知ってもらう」ことを活動の指針にしていこうと考えています。

素晴らしい事をごんばっている人がいても、それを知っている人がいなければ、「もっとごんばろう!」という気持ちも起こりにくくなってしまいます。たくさんの方の“ごんばっていること”を紹介して、たくさんの方に知ってもらおうこと。それが、交流の第一歩になるんじゃないかな、と思います。

そうした交流の中で「私もああいうことをやってみたい」と思う人が出てきて、そこからまた大きな交流の輪が広がっていけば、それが町全体を巻き込むほどに大きくなっていくかもしれません。

また、色々な市民活動だけでなく、伝統的に受け継がれている文化も、どんどん紹介していく予定です。そうした行事も、「紹介し、知ってもらう」ことで、文化を次の世代につなげていこうという人が出てくるかもしれませんね。

たくさんの方の“ごんばっていること”を紹介し、交流し、応援していきたい。

まだまだこれから、この「くちコミ」と一緒に、“えーる”も成長していければと思います。



がオープンしました！

2009年2月2日、旧鹿野グリーンハイツの建物を利用して、“保健・福祉・医療・地域活動の複合拠点施設”として、コアプラザかのがオープンしました！

2日の午前中に行われた竣工式に参加された方もいらっしゃるのではないかと思います。その竣工式にまつわるアレコレを、写真入りでご紹介します



鹿野高校出身の大谷泰彦さんをお迎えし、「人生はいつも青空」と題した講演会を開いていただきました！



こちらは南禅寺の管長・中村文峰様より寄贈された書です。2フロビーに展示してあります。



大潮・小河内神楽保存会による神楽祝賀の様子です。地域に息づく伝統芸能も、このコアプラザの竣工に花を添えていただいています。



“第二の成人式”と題し、65歳になられた方をお祝いする会も開かれております。

? ちょっと耳より?

実はこのコアプラザ、4月1日より防長バスさんの運行ルートに組み込まれるそうです。ちょっと足を運びたいけど、あそこまで歩くのもな……という方は、4月からバスを使われてみてはいかが？

コアプラザかの ここが見どころ！

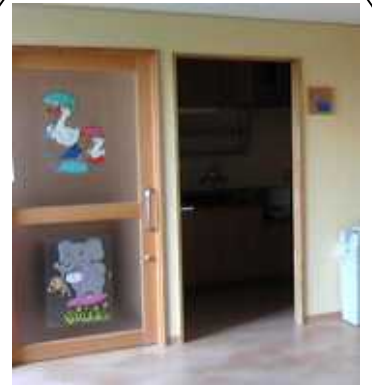
* 1F *



交流スペース。ちょっとした世間話ならここでできそうですよ！



ちょっと子どもさんと遊ぶ時にはこんな場所もあります。



授乳室（左）と給湯室。
この写真のすぐ右側に自動販売機もありますよ。



3月10日前後まで、交流スペースに障害者の皆様が製作したちぎり絵が展示されています。
高齢者センター様から提供された山代和紙を使った作品を、是非ご覧ください。

* 耳より・口コミ情報お待ちしております！ *

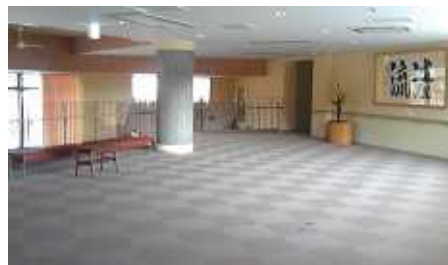
フリーペーパー“くちコミ”は、皆様からの情報や、“こんな事を載せてほしい！”というご要望をお待ちしております！

また、ご協力いただけるスポンサーの方も大募集。一緒に、町づくりしてみませんか？

* 2 F *



スロープから出て中庭に出ると、
こんな社もあるんです。



2Fロビーを、エレベータ側から見ると...。
表ページで紹介した中村様の書もこちらに
展示されています。

こんな展示もありました！

残念ながら2月12日までしか展示はされていなかったのですが、コアプラザの
オープンを記念した展示として、鹿野にお住まいの版画家・河村よし子さんの版
画展も開かれていました！



～くちコミ 第1号～

平成21年2月18日発行

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第 2 号 (平成 21 年 3 月 13 日発行)

今号のお知らせ

- ・ 「ぶち元気がいいね！ フェスタ」 今年の目標は「歯」
- ・ 劇団「わ」さんの練習を見学しました！
- ・ 「ぶち元気がいいね！ フェスタ」特集
- ・ ご存知ですか？ 健康応援隊

「ぶち元気がいいね！ フェスタ」、今年の目標は「歯」

みなさん、こんにちは！ “くちコミ”の第2号は、目前の3月15日に行われる“ぶち元気がいいね！フェスタ”を特集しようと思います。

このフェスタ、今まであまり聞いた事もない、という方も多いかと思います。かく言うわたしも、こうして情報誌を作り始めて初めて知った名前でした。

このフェスタは、市民が“健康づくり計画「のびのび はつらつ いきいき周南21」”を知り、豊かな人生を送るために健康づくりの視点で自分にできることは何かを探し、行動に移すことを目指して開催されるもので、今回が4回目となっています。

……とはいえ、「健康づくり計画って何？」というのが本当のところだと思います。

詳しくは、お近くの市役所にてご確認ください。

さてさて、今回のテーマは「歯」です。

この「歯」は、放っておくとひどく痛みがでできますよね。こうしてこの文面を眺めている方にも、あのズキズキした痛みを味わった方は多いのではないかと思います。

一生自分の歯で楽しく食べるためには、**日々の手入れ**が欠かせません。

つまり、**歯磨きをしっかりとすることが一番だ**、というわけです。

それも適当にすますのではなくて、**隅々までやる**ことですね。

かく言うわたしも、隅々まで歯磨きをしていなかったせいか奥歯が全部虫歯になっていたりします。

また今度、歯医者さんのお世話にならないといけなかな～、などと考えていたり……。

劇団「わ」さんの練習を見学しました！

今回のフェスタでは、オープニングイベントとして劇団「わ」さんによる寸劇が予定されています。そんなわけで、今回はその練習風景を見学させていただきました！



内容の打ち合わせ中。
皆様が、それぞれの意見を話し合い、よりよい作品を作る為に向かい合います。



練習のワンシーン。
“洞山歯科クリニック”にやってきた虫歯の子ども。その子どもの診療を通して、歯の磨き方などを楽しく紹介する寸劇となっています。

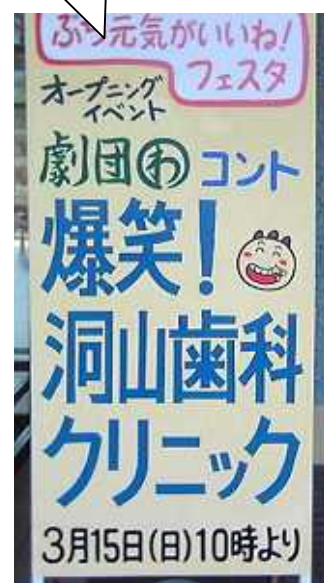
コアブラザ市民交流スペース
(入ってすぐのロビー)にて
公演いたします！



爆笑！ 洞山歯科クリニックは、

- ・脚本：坂本良夫
- ・演出：亀谷三千代
- ・出演：坂本良夫
洞崎伸治
洞崎涼子
小西規子

にてお送りいたします



「ぶち元気がいいね！ フェスタ」特集

～概要～

日時：平成21年3月15日(日) 9:50～15:00 雨天決行
場所：コアプラザかの(旧鹿野グリーンハイツ)

イベントでは、“歯”についてだけでなく様々な健康づくりについての情報を提供しています。

「ヘルシーなレシピの紹介」とか、「健康相談」「禁煙相談」他にも気になる「口臭測定」とか.....。

また、身体活動・運動コーナーでは“年齢・体力に関係なく誰でも楽しめる”ニュースポーツの紹介や、車椅子・歩行器の体験コーナーも用意されています。

運動しようと思っても、体が追いつかない.....そんなあなたに、有益な情報があるかも!?

地元の物を地元で使う“地産地消”の考えにのっとって作られた薄味のスープです。

レシピも配布されるそうなので、気に入ったら家でも作ってみてください
今回は冬バージョンのレシピが紹介される予定です。



会場 コアプラザかのの外觀

こんな“ちょっとお得”も、用意してます!

- * 試飲.....“周南スープ”“健康茶”などの試飲もできます!
- * 屋台.....「マイはし・マイ容器」持参の方には、ちょっとした景品もあつたりします。
- * 作る.....“親子で作る腕時計”“手作りおもちゃ作り”など、色々な工作もできます。
- * 献血.....会場には献血車もやって来ます。献血で、ちょっとした社会貢献などいかが?

* 耳より・口コミ情報お待ちしております! *

フリーペーパー“くちコミ”は、皆様からの情報や、“こんな事を載せてほしい!”というご要望をお待ちしております!

また、ご協力いただけるスポンサーの方も大募集。一緒に、町づくりしてみませんか?

ご存知ですか？ 健康応援隊

ぶち元気がいいね！ フェスタの中で、医療機関・福祉施設・社会福祉協議会・市役所など様々な立場の皆様が集まり結成された**健康応援隊**が、**高血圧**について取り上げます！

スローガン

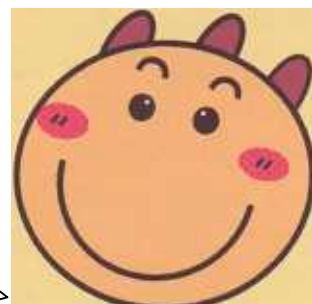
- ・ 降（こう）血圧のまち鹿野 120-80 めざして！
- ・ 健康管理の第一歩 知っていますか？ あなたの血圧、家族の血圧
- ・ 血圧ではかろう 家族のコミュニケーション

今更“高血圧”なの？と思われる方もいるかと思えます。

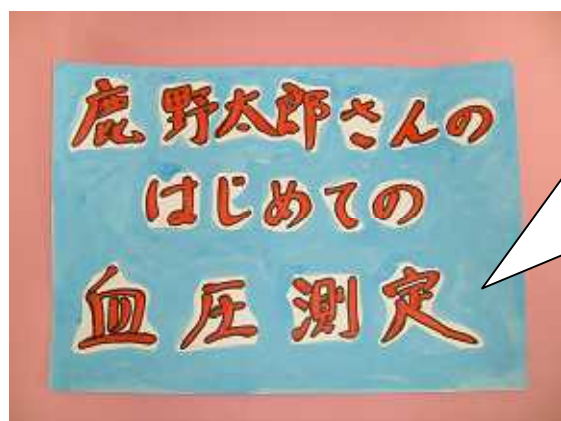
高血圧という病名はよく知られていますが、**誤解も多く、血圧の変動が大きい**ため、健診のときに測っただけでは安心できないこと、そのまま放置することなどにより**様々な病気の引き金になりうる**ことなどがあげられます。

しかし、自分で計測しやすいため家庭で判断できるなどの利点もあります。

この機に、血圧への理解を深めてみてはいかがでしょうか？



周南市健康づくり計画
イメージキャラクター
「シュウタ」くん



健康応援隊では、“**家庭で血圧を測ることの大切さ**”を伝えるため、フェスタの催し物として**健康紙芝居**を行います！

診療所ロビーにて**随時**開始予定です。

1回約3分の内容になりますので、ちょっと休憩ついでに見て行かれてはどうですか？

先着 300名様には、山代和紙で作ったしおりもありますよ！

～くちコミ 第2号～

平成21年3月13日発行

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のためのロコミ情報ペーパー



第 3 号 (平成 21 年 4 月 16 日発行)

今号のお知らせ

- ・ コアプラザにバスの停留所が設置されました。
- ・ 新コーナー「ひと・もの探訪」が始まります!
- ・ 「ひと・もの探訪」 ~花&喫茶「さくや」~
- ・ 金峰の桜を見に行こう!

コアプラザにバスの停留所が設置されました。

「くちコミ」1号で特集したコアプラザかのに、4月1日よりバスの停留所が設置されることになりました。

コアプラザに行きたいけれど、ちょっと交通の便が.....とおられた方、天気の良い時、足を運ぶのは面倒だ、そう思われていた方.....様々な理由で足が遠のいてしまっていた方もいらっしゃるかと思います。

そんな方々には、大きなお知らせとなるのではないのでしょうか。

停留所が設置されたコアプラザ玄関前。
こちらまで、すぐにバスで行けるようになりますよ!



新コーナー・「ひと・もの探訪」が始まります!

1号でコアプラザかの、2号でぶち元気がいいね! フェスタを取り上げてきた「くちコミ」その発行目的の一つに「がんばっている人(団体)を紹介する」というものがあります。そうした人(団体)を紹介するのがこの「ひと・もの探訪」です。

特集とは別に、こうした紹介も不定期ながらお送りしていきたいと思ひます。

色々な活動をされている個人から、地域に関係する様々な取り組みを行っているお店まで、どんどん紹介していければと思ひています!

ひと・もの探訪

～花&喫茶「さくや」～

地域に関係する様々な取り組みをされている人・お店を紹介するこのコーナー、第一号は大潮にある喫茶店「さくや」さんの特集です。

喫茶店というだけではなく、カタクリの花が咲く山を散歩することもできる素敵なお店ですよ。

コーヒー、紅茶といった喫茶メニューの他、お勧めはこちらの「さくやセット」。ごぼう天と餅の入ったうどんがとてもおいしいです！
うどんの具は、季節によって様々に変わってきます。四季折々の味が楽しめますよ



店内には「子どもの遊び」を題材にしたイラストが多数展示されています。
昔懐かしい遊びのイラストに、心が和みました。



そして何よりの特徴は、裏山の「ひめがみの庭」を散策できることです。四季折々の花を見ながら、散策することができます。
この山では毎年4月になると「カタクリ祭り」という祭りが開かれ、今年は4月19日（日）予定とのことですよ。



今回のメイン「カタクリ」の花です。

花&喫茶 さくや

営業時間：AM10:00～PM6:00

定休日：毎週火・水曜日

電話・FAX：0834-68-3396

住所：山口県周南市大潮葉の内 605

大潮トンネルを抜けてすぐ、左手側に見えてきます。
お店は坂の上にありますので、この看板を目印にどうぞ



金峰の桜を見に行こう！

4月、春到来ですね。春といえば、やっぱり桜の花を見に行きたいものです。

今回は、金峰で桜を植樹されている「防長の吉野をつくる会」さんのお話をうかがい、金峰地区の桜を紹介しようと思います！



合ノ川から金峰谷方面へ道なりに行くと、今年植えた桜の木が目に入ります。

まだまだ細く、花をつけるまでには時間がかかりそうです。

看板の通り、この植樹は会の15周年を記念して行われました。



奥谷を抜け、鹿野興産さんの採石場を抜けてさらに進むと、金峰神社にやってきました。

鳥居のすぐ傍にも、きれいな桜が咲いています。

ここに至るまでの道筋にも、たくさんの桜が植えられていますよ。

鹿野の町中の桜と言えば.....？



新聞などで記事になっているので、市役所鹿野総合支所そばに立つこのシダレザクラをご存知の方もいらっしゃると思います。

つい先日名称の公募があり、室町時代の名将、江良弾正の住居跡に桜があることから“**弾正系桜**”という名称に決定いたしました。

樹齢400年を越えるこの桜は、今がちょうど見ごろです！

昼もいいけれど、夜桜見物なんていうのも、いいかもしれませんね！

*** 耳より・口コミ情報お待ちしております！ ***

フリーペーパー“くちコミ”は、皆様からの情報や、“こんな事を載せてほしい！”というご要望をお待ちしております！

また、ご協力いただけるスポンサーの方も大募集。一緒に、町づくりしてみませんか？



金峰神社のある場所（左の写真地点）から、今度は右側へと向かいます。馬門方向へ向かう非常に狭い道を行くと、こんな場所（右の写真地点）へとやって来ます（Uターンもできない程狭い道です。車で行くのは大変かも？）この道を、右側（“菅蔵出合”の看板側）へ行くと.....。



鹿野学園の親の会の皆様が寄贈してくださった、桜の木が植えられている場所に出ます。8年前の桜の木は今年も立派に花を咲かせていました。



さらに奥まで行くと、平成10年に作られた“桜苑”にたどりつきます。道の下に広がる桜の木々は、まだこれからが見所ですよ。



～ 防長の吉野をつくる会 会員募集 ～

取材をさせていただきました“防長の吉野をつくる会”では、会員になられる方を募集されています。単なる桜山公園を作るのではなく、“心のふるさと”となるような場所を作りたい。そんな理念の下、現在約800人ほどの会員さんと一緒に活動されています。こうした活動に興味がある、会員になってみたい.....そこまでは考えていなくても、話を聞いてみたい、そう思う方は、下記ご連絡先までご一報ください。

～くちコミ 第3号～

平成21年4月16日発行

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第 4 号 (平成 21 年 5 月 25 日発行)

今号のお知らせ

- ・ 「観光ボランティアガイド」を紹介します。
- ・ 6月の見所! ~ササユリとモリアオガエル~

「観光ボランティアガイド」を紹介します。

最近、5月とは思えないような暑い日が続いていますね!

そうかと思えば急に寒くなったりと、まだまだ春らしさを感じることもありますが.....。

さて、そんな毎日の中、くちコミ第4号では鹿野地区を紹介する観光ボランティアガイドさん取材して参りました!

今回お話を聞かせていただいたのは、鹿野班の代表をしておられる原田明さんと、理事をしておられる藤永勝喜さんのお二人です。

この観光ボランティアガイド、正式には「周南市観光ボランティアガイドの会」と言い、2市2町に班があり(徳山のみ市内・大津島班と2つにわかれています)、今回取材させていただいたのはその中の鹿野班、ということになります。

平成19年4月に発足したこの会は、「周南市の観光客に“おもてなしの心”を持ってガイドをしたい」という理念の下活動しています。

また、会の中でも歴史を勉強しているとのこと。

会の発足にあたり、鹿野の埋もれていた歴史を掘り起こされた広本茂夫さんが遺された資料を、代表である原田先生が広められたそうです。

このお二人のご尽力が、現在の観光ボランティアガイドに繋がっていると言えるでしょう。

清流通りの写真。

清流に沿った道に、小さな公園があったり、緑が植えられていたりしています。

ちょっとした憩いの場に、最適ですね!





5月の糸桜の様子です。
見事な葉桜になっていましたよ！

鹿野地区で観光の中心となるのは、やはり
ちょうおんどう
潮音洞や、昨年、**平成の名水百選**にも選ばれた
清流通りを中心とした地域だそうです。

他にも、見所として漢陽寺^{かんようじ}、龍雲寺^{りょううんじ}、二所山田^{にしょやまだ}
神社などもあるのですが、不思議なことにこれらの
神社仏閣も清流通りに沿って見る事ができるのです。

そういえば第3号で少し取り上げた“^{だんしょういとざくら}弾正系桜”
もこの清流通りの沿線にあるんですよ。
単なる偶然なのかそうでないのか、鹿野を語る上
で外す事のできない場所と言えるのではないでしょ
うか？

また、ガイドは上手に話すより「鹿野」という場
所を好きになることが必要、というお話をいただき
ました。

誰だって、好きなものは熱心に紹介するものです
しね。そして、その熱意がやって来たお客様にも伝
わり、喜んでいただけるのではないのでしょうか。



同じく、清流通りにある水車小屋。
清流を受け、今日もゴトゴトと回っています。



清流通りにある
小さな池です。
ちょっとした散
策にも良さそう
ですね

“鹿野住民総ガイド”というお話も聞かせていただ
きました。

ガイドという人員を養成するだけではなく、皆が
「この場所はね……」と話せるようになれば、ちょ
っとその辺の人に聞けば、観光ガイドは成り立つの
ではないのでしょうか。

正確な知識を伝える専門のガイド、そして大まか
にでも名所の事を知っている地域住民。

ガイドだけではなく住民の協力もまた、地域を守
り立てる上で必要なものではないのでしょうか？

ボランティアガイド 連絡先～

現在は、鹿野総合支所（＝旧鹿野町役場）の産業土木政策課がボランティアの窓口となっております。
連絡先は、

0 8 3 4 - 6 8 - 2 3 3 5

休日 土日祝日

受付時間 8：30～17：15

ご用命は、お早めどうぞ

6月の見所！

～モリアオガエルとササユリと～

観光ボランティアガイドの取材の際、6月に見所を迎える鹿野の観光スポットを教えてくださいました！

見所その1

二所山田神社のモリアオガエル

このカエル、実は日本のあちこちで天然記念物に指定されているカエルだったりします。

しかし、実はこのカエル、鹿野では特に天然記念物指定などはされておりません。

写真のカエルがそうなのですが、こういうカエル、お近くでも見かけたことはありませんか？

鹿野では**とても良く見かけられる**カエルみたいなんです。

他の地域では天然記念物に指定されているカエルが、鹿野ではごくごく普通に見かけられる……これも、鹿野の持っている“よさ”の一つなのかもしれませんね！



木についた卵塊です。これがオタマジャクシになります。

オタマジャクシが無事に成長すると、こうなります！



モリアオガエルのいる場所

場所：二所山田神社境内横の池

時期：6月頃（梅雨時にやってきます！）

境内の横に、こういう池があります。

こうした場所に、カエルが卵を産んでいくそうですよ！

* 耳より・口コミ情報お待ちしております！ *

フリーペーパー“くちコミ”は、皆様からの情報や、“こんな事を載せてほしい！”というご要望をお待ちしております！

また、ご協力いただけるスポンサーの方も大募集。一緒に、町づくりしてみませんか？

長野山・天神山のササユリ

もう一つの見所は、長野山や天神山に植えられたササユリです。

こちら、知っている人は「そういえば、その辺りにも咲いていたんだよなあ」と思い出される方もいるかと思います。

しかし時代の流れとともに山野が荒れ、ササユリも少しずつ見ることができなくなってしまったそうです。そうした現状を考え、「ササユリを絶やさないようにしたい」という目的の下、あぐりハウスさん（総合体育館の向かい側にあります）にてササユリのパイオ栽培が行われるようになりました。

そうして栽培されたササユリが長野山や天神山に植えられ、今年も花を咲かせることでしょう。

ですが、主にイノシシなどにより根を食べられてしまう事が多いそうです。

花は6月上旬に咲き始めるそうです。

今年も、きれいな花が見られるといいですね！



ちょっと思った、小さなこと

今回、2箇所の見所取材しながら思うことがありました。

観光スポットを守ることは、自然を守ることでもあるのではないか、ということです。

二所山田神社のモリアオガエルにしても、方々で数を減じているのは、卵を産むのに必要な「水面上に木の枝がせり出すような湖沼」が減ってしまったり、森林に人の手が入り環境が変わってしまったことが影響しているのだそうです。

ササユリにしても、元々はあちこちで見られたものが減ってしまった理由に、山野が荒れてきてしまったことがあると聞きました。

モリアオガエルやササユリだけではなく、その周囲にも、たくさんの生命が息づいています。

例えばカエルを狙ってやってくるヤマガカシであるとか、オタマジャクシを狙うイモリとか。

そうした存在も、きっと池の周りではよく見かけることができるでしょう。

こうした、**たくさんの生命の営みを守る = 自然を守る**、ということも必要なんじゃないかな、と思った取材となりました。

～くちコミ 第4号～

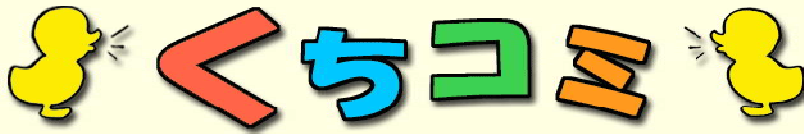
平成21年5月25日発行

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第 5 号 (平成 21 年 6 月 21 日発行)

今号のお知らせ

「ちょっと字が見えにくい」というご意見がありましたので、

あ あ

このくらい字を大きくしてみました。ご意見、ありがとうございます！

劇団「わ」公演間近です

蒸し暑い毎日が続いていますね。

梅雨時ということもあり、毎日がすっきりしない天気が続いています。

そんな中、今年もやってまいりました。

劇団「わ」の公演が近づいています！

“鹿野地域で暮らす住民自らが企画し、自らがキャスト・スタッフとして演劇を公演することにより、地域文化の振興や活性化、連帯感の向上を目指す”という理念の下設立されたこの劇団も、今年で8年目となりました。

今回の公演は6月27日(土) 鹿野公民館2階講堂にて行われる予定です。

うっとうしい雨の中ではありますが、ちょっと足を運んでみませんか？

* 第 1 回公演からの演目 *



この木も隠れた名脇役！

第3回公演「やまなみ人情」から、「わ」の公演に出演していただきます。今回も出演するかな？

第1回(平成14年)	「高原列車が走る町」
第2回(平成15年)	「ほたる」
第3回(平成16年)	「やまなみ人情」
第4回(平成17年)	「おじいちゃんのスイカ」
第5回(平成18年)	「鹿野の里に風が吹く」
第6回(平成19年)	「人生晴れたり曇ったり」
第7回(平成20年)	「続・やまなみ人情 ホテルやまなみ騒動記」

代表あいさつ & 新人インタビュー

劇団「わ」も今年で8年目を迎えることとなりました。
劇団「わ」は、鹿野に住んでいる私たちが企画し、キャスト・スタッフも私たちを中心に行い、演劇を公演することで、地域の活性化を目指してきました。
「わ」という名前に込めた願いどおり、いろいろな世代の人が演劇の取り組みを通して、自分の活躍の場を広げ、それを生かして「わ」が広がってきたように思います。
さて、8回目の今回公演する作品は、今までと同じく坂本良夫の脚本「夫婦善哉」です。「田舎」「人情」「夫婦愛」をテーマに笑いあり涙ありの作品となっています。ちょっと一息つきたい皆様、私たちの演劇でお楽しみください。



「わ」代表 亀谷 三千代 さん

今回の公演「夫婦善哉」には、3人の新しい役者さんが参加されています！
その新人さんに、今回の劇に対する意気込みを聞かせていただきました

明石純子役 **藤田智美さん**

演劇をするのは初めてですが、経験豊かな方々にいろいろと教えていただいています。
難しい役柄ですが、精一杯がんばります！

浜野礼子役 **児玉ノリ子さん**

鶴は千年、亀は万年。
頭の中は真っ白ですが、役になりきれようがんばります。

木村慎二役 **鬼武優一郎さん**

自然にできるようにがんばります！

新人さんの好演にも、どうぞ期待ですね

夫婦善哉

めおとせんざい



* 公演日程 *

日時：6月27日(土)
場所：鹿野公民館2階講堂
開場：18:30
開演：19:00

あらすじ

鹿野の里で20年、食堂を営んできた鶴夫と千恵子。働き者の従業員や、友人たちと幸せな日々を送っていたが.....ある日昔別れた恋人が娘を連れて会いにやってくる。鶴夫は女房・千恵子との約束を破って会ってしまう。千恵子を裏切った思いにいたたまれなくなった鶴夫は、家を出る決心をする。さて、千恵子は.....。

キャスト

民宿の主人	港矢鶴夫(坂本良夫)
民宿の女将	港矢千恵子(小西規子)
板前	山川新一(一原大典)
手伝い	下村幸江(寺戸ひろみ)
泊り客	明石純子(藤田智美)
	浜野礼子(児玉ノリ子)
	木村慎二(鬼武優一郎)
鶴夫の過去の女	川上花江(亀谷三千代)
花江の娘	川上ひとみ(永野梢)
鶴夫の友人	石田亀吉(洞崎伸治)

音響	野村邦幸
照明	梅津敏英
舞台美術	岩田純
大道具	元安積
広報	吉安曜子・亀谷忠史
演技指導	高橋聖子

* 耳より・口コミ情報お待ちしております！ *

フリーペーパー“くちコミ”は、皆様からの情報や、“こんな事を載せてほしい！”というご要望をお待ちしております！

また、ご協力いただけるスポンサーの方も大募集。一緒に、町づくりしてみませんか？



募集！

劇団「わ」の演劇をサポートして下さる方を募集いたします！
直接舞台に上る以外にも、裏方や、受付、当日の駐車場整理など、たくさんの力が公演を成功に導いてくれるんです。

そんな「わ」のサポート隊を結成したいと思います！
舞台に上がるのはちょっと……でも、何か協力してみたい。
そんなあなた、一緒に「わ」を応援しませんか？

「わぽ〜と」募集要項

内容：

公演当日のボランティアです。
駐車場整理係、会場整理係など。

報酬：

ボランティア参加となるので無償でのご協力をいただければと思います。
軽食程度であれば、劇団側でお出しいたします。

集合：

17:00までに「鹿野公民館1階ロビー」までお集まりください。

実働時間：

6月27日(土) 18:00 ~ 19:00

応募締め切り：

6月24日(水)

～くちコミ 第5号～

平成21年6月21日発行

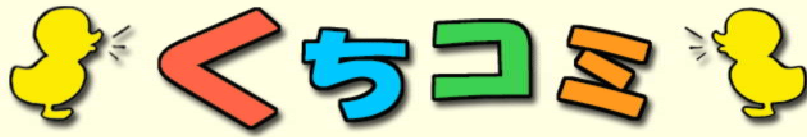
発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：

http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第6号（平成21年7月26日発行）

知っていますか？ コアプラザ前の“茅の輪”



つい最近まで「コアプラザかの」の前に設置されていた、こんな輪を見たことがありますか？
これは“茅の輪(ちのわ)”と言って、名前の通り、茅(かや)を使って作られた輪なんです。

この茅の輪は、神社が6月、12月に行う“人々の抱えるつらさ、苦しさ”を祓う「^{おおはらえ}大祓」

という行事のうち、6月に行われる「^{なごし}夏越^{おおはらえ}の大祓」のときに使われるものです。

二所山田神社に7月10日まで設置されていた茅の輪を実際に足を運んで目にされた方もいるかと思います。
この大きな備え付けの茅の輪は、神社の総代さんが中心となって作成したものなのだそうです。

では、このコアプラザ前に設置された茅の輪はどういうものなのでしょう？

この茅の輪は「神社までなかなか足を運ぶことができない人のために、コアプラザに設置したもの」なのだそうです。
老人会の手によって作られたという茅の輪は、残念ながら今はもう撤去されていますが、きっとまた来年もこの鹿野に設置されることと思います。

今年茅の輪をくぐれた方も、くぐれなかった方も、来年は是非この輪をくぐってみてくださいね！



この茅の輪は、自分で輪をくぐる
= 自分でお祓いをする というお祓いでもあります。
自分自身の手で、自分を祓うことができるんですね。

天神祭の季節がやってきました！

さて、7月と言えばやっぱり30日に行われる“天神祭”ですね！

わたしも子どもの頃は、毎年この日がとても楽しみだったのを覚えています。



この天神祭は、鹿野全体を見守る神様である“天神様”をお祭りする行事です。

このお祭は“氏子”という枠を取り払って行われる、まさに鹿野全体で盛り上げ、作っていくイベントといえるでしょう。

出し物はここ、鹿野天満宮さん
からスタートします！



下市にある“御旅所”です。
各種の行事はここを目指して出発し、また神社まで戻っていくんですよ。

この天神祭には、各地区から様々な出し物が出て、祭を彩ります。

堤・石ヶ谷・美保・柏原地区が持ちまわりで行う、大名行列の様子を

再現した「奴」、菅原道真を迎える役人達を再現した「大行司」。

小行司（今年は大行司を野上の中西さん、小行司を石ヶ谷の吉安さん

が担当されるそうです）、子ども達の引く「ドロ」、渋川地区が担当する、

天満宮の神様が乗ったという「ご神牛」、本町・中町・下市地区が担当する、神様が神輿に乗って町の中を渡られる「御神輿」、

“網代保存会”が担当する、神様の乗っていた網代に乗って町を練り歩く

「裸」……こうした出し物もまた、お祭を語る上で欠かせないものですね！

？ ちょっと耳より？

このお祭の名前に使われている“天神”って何のことかご存知ですか？

そう、“学問の神様”「菅原道真」のことですね。

平安時代に政治家として活躍した道真ですが、最後は政権闘争によって大宰府に左遷されてしまいます。その左遷の恨みから“都に雷を落とした”という伝説が作られ、道真は天神（＝雷の神）と呼ばれるようになったのだとか。

しかし“天神様”は雷を落とす恐ろしい神様、というだけではありません。

雷が落ちるときには、決まって雨が一緒に降ってきますよね？

そこから、田舎では“雨を呼ぶ農耕の神様”として祭られているのだとか。

鹿野の町に祭られている“天神様”も、農耕の神様として昔から町を見守ってくれたんですね！

かののむかしばなし

今回、天神祭の出し物の一つである「ご神牛」を探っていくうち、渋川の石船伝説に関わる似たような伝承を見つけることができました。

鹿野の民話を書き起こしていらっしゃる、倉富良枝さんよりお話をお伺いいたしました。

「 ツガニと神様 」

昔々、渋川の地に、^{にしよ}二所さまという神様がやって来られたそう。里の人は、二所さまをお祭りする宮を建て、二所さまがいらっしゃるのを今か今かと待ちわびておった。

お供を連れた二所さまは木の船にお乗りになられ、すいすいと流れを逆に、渋川をさかのぼっていったそう。どんとどんと川をさかのぼると、やがて川はせばまり、あちこちに岩が目立つようになってきた。そのうち、とうとう船は岩と岩の間に挟まり

「ああ、困った、困った。これでは先に進めんじゃあないか」

二所さまのお供は船を降り、さぶりと冷たい川に足をつけて、よいしょ、よいしょと船を押ししてみたが、船はうんともすんとも動かんかった。とうとう二所さまも船を降りられ、一緒に船を押し始められたんじゃと。

この岩場は、川の又シである「ツガニ」のすみかでもあった。二所さま達が大騒ぎをするものじゃから、又シはせっかくいい気持ちで寝ておったところを起こされてしもうた。ねばけまなこで岩場から顔を出すと、ぶらぶらと袋のようなものが目の前で揺れておるではないか。起こされて機嫌の悪い又シは、その袋をハサミでちょきん、とはさみこんだんじゃ。

「ああ痛、ああ痛！」

なんと、その袋は二所さまの金玉袋じゃったから、さあ大変。すぐに二所さまはツガニをつまみ上げ、大きな声で怒って言った。

「わしの大事な物を、よくもハサミでつまんでくれたな。もう、お主はこの川に住むことあいならん」

ぶん、と又シは岩場に投げつけられて、ぐしゃりとつぶれてしまったんじゃ。

すると、岩にはさまっていた木の船は、たちどころに石の船となって動かなくなってしもうた。ぶくぶくと川の中に沈んでしもうて、とても乗ることはできなんだ。

「ああ、ああ、なんと困った。これでは、宮までたどり着けないではないか」

二所さまのお嘆きになる声を聞いた里の人は、まだ若い、優しい娘の牛をひいて二所さまの所へやって来た。

「二所さま、二所さま。もしよろしければ、この牛の背中にお乗りください」

里の人の申し出に、二所さまはにこりと笑ってうなずいたそう。

山奥で足元の悪い道を、二所さまを乗せた牛は、ゆっくりと歩き始めた。

こうして、無事に二所さまはお宮にたどり着くことができたんじゃと。

(おしまい)

天神祭の「ご神牛」とはまた別のお話なのですが、神様と牛にまつわるお話、それも同じ渋川地区に残るお話ということで、紹介させていただきました！



石船温泉の手前、ファミリーランドさんから川の方へ向かうと、こんな形の岩があります。
これがお話に出てきた「石船」なんですよ！

「ツガニと神様」いかがだったでしょうか？
鹿野の中には、こうした民話や伝説がとてまたくさん伝わっているんですよ。

この話の舞台である渋川に「石船」と呼ばれる場所があるのはご存知かと思います。
そこには驚くことに、お話に出てきた“石の船”があるんです。

ご興味のある方は、一度足を運んでみるのもいいかもしれませんね！
今後も、こうした“民話の中に出てくる鹿野の名所”をご紹介しますのでお願いします。

この写真は、島根県の「島根県水産技術センター」様よりご提供いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。



実はこのツガニを渋川に放流し、育てようという動きがあったそうなんです。

しかし、ツガニはまったく育つことがなかったそうです。

この話の中で、川の主であるツガニは二所さまに「この川に住むことあいならん」と言われているんですが、まさにその通りの出来事が起こっているわけです。

もちろん“なぜ育たないのか？”という理由もあるんですが、そうした理由を昔話として伝えているのは、とても興味深いですね。

もしかすると他の話にも、自然の原理や仕組みを説明した話があるのかも？なんて思っていました。

ツガニは正式には「モズクガニ」と呼ばれ、日本各地で見ることができるんですよ。

ちなみに、食べるとおいしいらしいです！

「塩ゆで」「カニ汁」「カニ飯」などなど、色々な方法でいただくことができるのだとか。

～くちコミ 第6号～

平成21年7月26日発行

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：

http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第 7 号 (平成 21 年 8 月 26 日発行)

色々あります、鹿野の“岩”

今回は、鹿野のあちこちにある“岩”のお話を取り上げたいと思います。
まずは最近テレビでも放送されている「ライオン岩」から、いってみましょう！

ここが「ライオン岩」です！



この「ライオン岩」は、^{いわや}岩屋山という山にある岩の名前です。
もちろんその名前の由来は、この岩がライオンのように見えるから……だそうです。

^{てんじん}天神山を左手に、^{いしぶね}石船温泉方面へ向かうと見ることが出来るこの岩屋山のライオン岩ですが、ライオンの目にあたる部分には、観音様をお祭りする岩屋山観音堂があるんですよ。

この観音堂は今から約 230 年ほど前にはすでに存在を知られていたそうなので、それよりももっと昔からこの場所にあるそうです。

一度お参りしてみたいのですが、登るのはとても危険な断崖を移動しなければならないようです！

腕（足？）に自信のある方、一度登られてみるのもいい……かも？

この枠の中から覗くと、ちょうどライオン岩が見えます。
写真が撮りやすいですよ！



姫岩伝説

鹿野の“岩”を調べていくと、ライオン岩以外に“^{ひめいわ}姫岩”と呼ばれる岩も見つかりました。

こちらでは「鹿野町誌」にも記載されているこの姫岩にまつわるエピソードをご紹介します。

～ ^{よしみ}吉見の火正月 ～

昔々、鹿野の^{くらかけ}蔵掛山という山にお城があったそう。

そのお城の殿様である吉見さまは、それはそれは悪い殿様じゃった。お墓を作れば金を取ると、それはもう目に余ることばかりをしておったそう。人々はお正月でも着るものも、食べるものもない、とてもとても貧しい日々を送っておった。

「ああ、寒い寒い。なんと、あのお殿様の悪いことか」

人々は口々にそう言いながら、恨めしい目で山のお城を見上げておった。



蔵掛山
(せせらぎパーク入口より撮影)

じゃが、こうした人々の苦しみを捨ててはおけぬ人がおった。吉見さまの家来である^{うらみ}浦見さまというその人は、殿様の様子にとうとう我慢がならんようになった。

「このまま放っておけば、村の者は皆飢えて死んでしまう。もはや、見てみぬふりはできん」

と、ついに村人とともに蔵掛山の向かいにある、^{さんこつ}撒骨山という山に砦を作って、村の人々と共にたてこもったそう。

さて、吉見さまには一人の姫がおった。この姫は、村人のことを考えている浦見さまにひそかに思いを寄せていたそう。

じゃが、女の身では^{いくさ}戦を止めることなどできなんだ。どうしてもできないうちに、ついに父親と、思いを寄せる浦見さまとの戦は始まってしもうた。

「ああ、どうかこの戦が、止まりますように」

そう願って、姫は一人、こっそりと城を抜け出したそうじゃ。

二つの城が見渡せる、石鍋の田んぼにあった岩の上に座って、姫は静かに戦が終わることを願っておった。



撒骨山
(蔵掛山より撮影)

じゃが、戦はそれはそれは激しく、見晴らしのいい岩の上において無事であろうはずもなかった。戦の流れ矢が飛んできて、「あっ」と思う間もなく、姫はその矢に当たって死んでしもうたそう。



戦の後、岩の上で死んでおる姫の姿を見つけた村人は、やがてその岩のことを「姫岩」と呼ぶようになった。

今でもこの「姫岩」は、石鍋の田んぼのあぜ道から、そっと戦のあった二つの山を見守っておるのじゃそう。

(おわり)

これが姫岩(鹿野町誌より、写真引用させていただきました)です。この石に触ったり、座ったりすると、**祟り**があるのだとか！

周囲は草の生い茂るあぜ道で、草の枯れる冬にならないと見るこのできない場所にあるんですよ。

ひと・もの探訪

地域に関係する様々な取り組みをされていていらっしゃる人を紹介するこのコーナー、2回目は渋川の農家レストラン「たぬき」さんの紹介です！



いしづね ながの
石船温泉から長野山方面へ向かうと、
左手側にこんなビニールハウスと看板、
そしてたぬきの置物が見えてきます。



ご主人がこのお店を始められたきっかけは、
“売り上げを出すよりも、自分もお客様も「のんびり」とできるような場所を作りたい”
と思われたからだそうです。

今回は、そんな思いの詰まったお店にお邪魔
させていただきました。

まずは自家製の番茶を飲みながら、ほっと一息。

「たぬき」一押しの御膳である“ほうさくごぜん宝作御膳”を注文してみました。



こちらが1日15膳限定の
“宝作御膳”です。

ご飯の種類が選べますよ。
今回の取材では菜めしだっ
たのですが、雑穀米だっ
たり、ふきご飯だったり、時
期により色々あるそうです。

ちなみに、この宝作御膳には鹿野のおみくじ製作会社で
じょしどうしゃ
ある女子道社さん製作の開運みくじがついています！
わたしが引いたおみくじは中吉でした。
いいことがあるといいなあ。





宝作御膳でお腹いっぱいになったところで
今度はある有名な神社へと案内していただき
ました。

こんな自然を眺めながらやって来たその場
所。

もしかして聞いたこともあるかもしれませ
ん。“**宝作神社**”です。

「宝くじが当たった」という声も
聞ける神社の祈願祭は、元々5～6
人の有志がイベント感覚ではじめた
ものなんだそうです。



宝作神社の社殿内も見させていただきました。
古めかしく、ギシギシと鳴る社殿の中には、この
神社に寄付された方々の名前や神社の説明が書か
れた板、そして“**豊**”作神社の名前が。
どうして名前が変わったんでしょう？
それを調べてみるのも、なんだか面白そうですね！



すぐ近くにはたぬき様の管理されている「宝作“観音”」もあります。

この「宝作観音」のお賽銭は、「^{しばかわ}渋川をよくする会」様に寄付され、渋川地区のために使わ
れているんですよ。

農家レストラン「たぬき」

営業時間：10：00～17：00

定休日：月～木（祝日営業）

電話：0834-68-3818

住所：山口県周南市大字鹿野上1262-2

数量限定、要予約のメニューもありますので、
先にお電話されてからのご来店をお勧め
いたします！



～くちコミ 第7号～（平成21年8月26日発行）

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第 8 号 (平成 21 年 9 月 27 日発行)

"なつかしの学校展" が開催されます。



現在の鹿野小学校です。
わたしが通っていた頃の校舎は、
この校舎以前に使用されていた
ものです。
鹿野小も、変わってきているんで
すね。

突然ですが、鹿野にある小学校の数をこぞんじですか？
現在は、鹿野小学校一校だけになってしまった小学校で
すが、かつて鹿野各地に小学校が点在していました。

しづかわ おおしお に ほつ
渋川・大潮・仁保津小学校の各小学校、分校として

みたけ ひみつ お せいりょうじ おくばた
金峰、秘密尾（鹿野小）、清涼寺（仁保津小）、奥畑（金
峰分校が「金峰小」として存在していた時の分校）など、
すでに休校・廃校となってしまった小学校はたくさんあ
ったんですよ。

残念なことに、今年の3月31日をもって休校だった渋
川・大潮・仁保津小学校が廃校となってしまいました。

老朽化が進み、再利用が難しい仁保津小学校は解体されてしましますが、渋川小は「渋川
をよくする会」の会員よっての利用、大潮小も再利用が検討されているようです。

"なつかしの学校展"は、地域文化の活性化のため、心のふるさとである小学校備品の展示、
及びオークション・バザー形式での売却・整理を行おうという企画になります。



『なつかしの学校展』は、

展示 : 10月5日(月) ~ 10月30日(金) 12:00
オークション: 10月11日(月) ~ 10月30日(金) 12:00
バザー : 10月24日(土)・10月25日(日) 17:00
(バザーで販売する品物は、オークション品以外の学校用品です)
まで、コアプラザかの2F・多目的室にて行われます！

仁保津小学校をふりかえって

ここでは今回廃校となってしまう3小学校のうち、校舎の解体が決まってしまった仁保津小学校の卒業生・河村よし子さんへのインタビューを紹介いたします。

廃校・解体を迎える仁保津小学校について、どのような思いをもたれているのでしょうか。

当時の学校の印象や、思い出をお聞かせください。

私が、仁保津小を卒業したのは47年前になります。当時は、児童が少なく複式学級でした。だけど、複式だからこそその良さとして、アットホームな雰囲気がありましたね。

つい先日、仁保津小の校舎に入られた時の事をお聞かせください。

偶然、荷物運びのお手伝いで行ったのです。まず"なつかしさ"を感じました。良いことも悪いことも含めて、あの頃の自分、自分の原点を思い出したように思います。全く忘れていた風が吹いたような気がしました。

私は、鹿野に、仁保津に、38年ぶりに戻ってきました。今回校舎に入って、「私はちゃんとここにいたんだ」ということを再確認できました。

今回仁保津小が廃校になってしまうことについて、どう思われますか？

多くの方が、ここから出てしまい、住んでいる人が少なくなり、子どもがいなくなっている以上、廃校は仕方ないことだと思います。

だけど、ここに小学校があったという証しは、残しておいてほしいと思いました。石の校門、校庭の木々など。

解体する前に、一度地元の方が校舎に入る機会があればいいな、と思います。まだ校舎に残っているものを「思い出の品」として持ち帰ったりできてもいいですね。

他の人にとってはただの品物でも、ここを卒業した人にとっては何か思い出のある物かもしれませんね。

ご協力、ありがとうございました。

仁保津小学校は、明治9年に「^{すやま}巢山小学校」として創立されました。その後、串小学校の分校化・独立化を繰り返し、昭和28年には「串村立仁保津小学校」となり、清涼寺分校を付属するようになりました。昭和45年に清涼寺分校が廃校となった後も、花いっぱい運動にて山口県優秀賞、県知事賞、全国優秀賞など多数の賞を受賞しています。

昭和63年以後、30年弱の休校が続いていたんですよ。



あの小学校は今……

廃校となってしまった3つの小学校を訪ねてみました。

昔は子ども達の声の響いていた小学校、今はいったいどうなっているのでしょうか？

渋川小学校



渋川小学校の校門です。

明治14年に鹿野小学校の分校として始まり、平成3年に休校となりました。

右の写真は、校門に取り付けてあった学校の表札です。今はかろうじて、「小学校」の文字だけ読み取ることができました。



右の写真は、校舎の正面玄関です。

他の小学校もそうなのですが、**木造・瓦屋根**の建物なんですよ。わたしの通った鹿野小は（旧校舎も含め）外見はコンクリート、屋根も瓦ではありませんでした。

こうした部分にも、歴史を感じることができますね。

今後、「渋川をよくする会」の皆様の手で、どんな風にこの校舎が使われていくのか、とても楽しみです。



大潮小学校



大潮小学校は、明治14年に設置された鹿野小学校の桶山・片山分校が大正2年に合併されて誕生しました。

3小学校のうちでは最も長く存続し、平成9年に休校となりました。

他の小学校と違い、小高い場所に校舎があり、校門に入るまでに少し坂を歩かなければならないのが特徴的です。

正面玄関からグラウンド側を向くと、この^{まるやま}円山を見ることができます。「**おーい、円山ー**」とこの山に児童が呼びかける様子は、たびたび**新聞やテレビで報道**され、平成17年に開催された国民文化祭では、**こども夢プロジェクトの会場**として使われたり、**新藤兼人監督の映画ロケ地**として使われたりもしたんですよ。



仁保津小学校



仁保津小学校が3小学校のうち、最も早く明治9年にその原型を完成させています。

たくさんの児童が通った校門も、今はひっそりと静まり返っていました。

校門の頭部分が特徴的な形をしているのが印象に残ります。

グラウンドから見える校舎の横部分です。時計が掛けられていましたが、時間は少し遅れ気味……休校からの長い年月を感じ取ることができました。



校舎の裏、かつてはここにも花が植えられていたのでしょうか。右手側の建物は、何箇所も鎖でつながれており、老朽化している事を物語っていました。



グラウンドにはほとんど遊具もなく、開けた空間が広がっていました。どんなことをして遊んでいたのか、想像が膨らみます。



なつかしの学校展 ボランティア募集

なつかしの学校展を開くにあたり、用具運び込むボランティアを募集しています。もしお時間が合えば、一足先に懐かしい学校用品と再会してみませんか？

日時：

9月28・29・30日（公民館より、コアプラザかのへ用具を移動します）

10月1・2日（コアプラザかのに展示品をセッティングします）

9：30までに、公民館前までお越しください！

連絡先：

0834-68-2094（コアプラザかの）

町づくり応援団“えーる”
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第8号～（平成21年9月27日発行）

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための 口コミ情報ペーパー



第 9 号 (平成 21 年 10 月 30 日発行)

"人の和が、グラウンドゴルフの種をまき"

すっかり秋も深まり、朝晩はとても冷え込みますね！ とはいえ、まだまだ日中は暑い日が続いています。そんな秋といえば、読書の秋、食欲の秋……と色々ありますが、今回はスポーツの秋を取り上げてみました！

今回取材させていただいたのは、気軽に楽しむ事を目的にした"ニュースポーツ"の一つ、グラウンドゴルフです。



グラウンドゴルフってなんだろう、という方もいらっしゃるかもしれませんが。

ですが、周南市内では約 560 人、鹿野地区だけでも約 70 人の方が協会に登録され、楽しんでいる

スポーツなんですよ。

協会が主催する大会も年に 6 回ある上、各支部が独自に決めた大会もたくさんあり、とても盛んに大会が行われているんだなあと思いました。

「歳を取って運動するのもおっくうだ」「男性には

かなわないから」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが。でもグラウンドゴルフは、競技者のほとんどが 60 歳以上で、女性の方もたくさんいらっしゃるんですよ。今回取材させていただいた大会でも、70 歳代や、80 歳代の方もいらっしゃいました。最高齢の方は、なんと 92 歳なのだそうです！

表題の言葉は、協会の方が広島に講習を受けに行かれた時、講師の方がおっしゃっていた言葉なのだそうです。

鹿野でも口コミで競技者を増やしているこのグラウンドゴルフは、阿知須にあるきららドームで中国大会が開かれたり、国体においても競技の一つとして数えられるほどポピュラーで、競技人口の多いスポーツになってきたんですよ。

まさに、和が種をまき、こうして大きな実をつけた……そんな風に思います。

スポーツの秋、あなたもそんなグラウンドゴルフに挑戦してみませんか？

体験しました！ グラウンドゴルフ

お話によると、仕事の疲れを忘れ、時間がたつのも忘れるほど面白い、というこのグラウンドゴルフ。せっかくなので、取材の後に実際に体験してみることになります。今回は、総合体育館横のふれあい広場にて、ゲームを行ってみました！



これがゲームに使うクラブとボールです。グラウンド「ゴルフ」というだけあって、なんとなくクラブもゴルフクラブみたいですね！

さて、わくわくしながらプレイ開始です！

ボールはかなり硬くて、クラブで思い切り打つと「かーん」といい音がするんですよ。力いっぱい打って、スタートマットごとボールを打ってしまったり、空振りしたり。せっかくなちゃんと打てても、地面のどこへボールは真っ直ぐ進まず、右へ行ったり左へ行ったり.....。

はっきり言って、とても難しい！

せっかくなポールポストの近くまでボールを寄せられても、なかなかうまく入ってくれない。力あまって、せっかくな入ったポールポストからまたボールが出てしまったり。競技に参加されている方、さすがだなあと思いました。

だけど、そうしてうまく入らないのも楽しさの一つだと思います。

取材のつもりで、1ゲーム回って終わりにしようと思っていたんですが、ついついもう1ゲーム、やってしまいました。

仕事の疲れを忘れ、時間がたつのも忘れるほど面白いというのは、本当だったなあとしみじみ思いました。

また、ゲームは個人競技とはいえ、何人かで一緒になって行きます。

勝敗にこだわらず、皆でわいわいとやって、楽しく汗を流せるのが、グラウンドゴルフの魅力だと思いました！

グラウンドゴルフを楽しもう！

今回ゲームを体験したふれあい広場でプレイするには、総合体育館で広場の使用申請をする必要があります。

利用料は1時間につき520円（照明を使うと+320円）です。

また、クラブやポールポストなどの道具は、広場に一式取り揃えてありますので、ちょっと遊びに行こうかな.....と思ったときでも大丈夫ですよ！

大会におジャマしました!

去る10月26日に、山村広場にてグラウンドゴルフの大会が開かれました。

ここでは、その大会の様子をお伝えいたします!



会場の山村広場です。
新南陽、徳山、遠くは熊毛や大島地区からも参加者があり、
大会は約190人の方が参加しました!



グラウンドゴルフは、スタートマット(右上)から、ボールを
ポールポスト(左)に入れる打数の少なさを競うゲームです。

日本グラウンド・ゴルフ協会でインターネット検索して出
てくる協会ホームページにもルールが記載されていますよ!

朝早いこともあり、肌寒い中ながら参加者の方は元気に試合の準備をされていました。
協会揃いの上着を着てきている方もいらっしゃったり、マイクラブを持っている方もいら
っしゃりと、とてもお洒落でした!
スポーツというよりはレクリエーションのような、和やかな雰囲気が印象的だったですね。

ずらり、並んだ参加者の皆様です。
190人もいると、並んだだけでも大迫力ですね!



開会式後、3コースに分かれ、スタートマットからボールを打ち出す姿があちこちで見られました。
同時に、わいわいと楽しそうな声があちこちから聞こえてきます。
グラウンドゴルフの楽しさは、このみんなで楽しむ、というところにあると思いました！



会場には、**高齢者生産センター**の方もいらっしゃり、お餅やお菓子を売っておられました。プレイの合間に、参加者の皆様もたくさん買っていましたよ。
「ちょっと私の分、買っておいてよ」なんて、お互いに気楽に声をかけたりもされていて、いい雰囲気でした。



優勝できて、とても嬉しいです！

優勝者は、**鹿野にお住まいの吉安一枝さん**でした！吉安さんは、なんと**ホールインワン**を3回出されています。実際にゲームを体験し、真っ直ぐ打てない、ポストに入れられない……なわたしからすると、ただただすごい一言です。

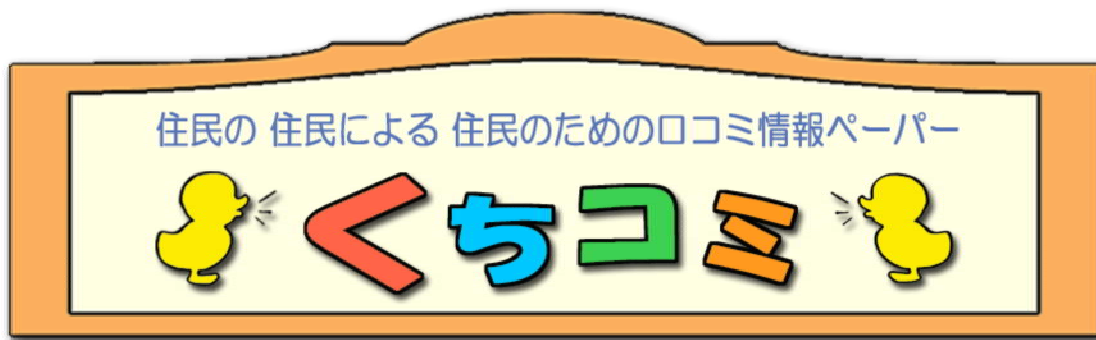
吉安さんの他にも、女性で上位に入賞された方はたくさんいらっしゃいました。男女・年齢に関係なく競技に参加できるグラウンドゴルフならではの光景だったと思います。終始、和気あいあいとした雰囲気の中で大会は行われていました。
今度は、是非あなたも参加してみませんか？



町づくり応援団“えーる”
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第9号～（平成21年10月30日発行）
発行者：町づくり応援団“えーる”
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html





第 10 号 (平成 21 年 1 1 月 2 9 日発行)

"文化振興"でも、鹿野はがんばっています！

11月も終わりに近づき、もうすっかり冬ですね！ そろそろ雪でも降ってくるのでは.....
というような日が続いていますね。

そんな11月ですが、11月といえば3日の文化の日。

この文化の日に、周南市の文化に貢献した方々を表彰する式典が開かれたんですよ。

この式典では、周南市文化功労賞・特別文化功労賞・文化振興賞・文化奨励賞といった賞を得た方々が表彰されました。

鹿野からは、劇団「わ」が周南市文化振興賞を授与されています。

とはいえ、それっていったい何？と思われるかと思います。

この文化振興賞というのは、"芸術文化の向上・発展のために積極的な活動を行い、さらに今後の活動が期待でき、周南文化協会の発展に功労があった方"に贈られる賞なんです。

実は昨年も、民舞・芸術分野、そして教育委員会からの推薦を受け、受賞された方が鹿野にいらっしゃるんですよ。

文化面においても、鹿野では色々な人ががんばっているんですね！



劇団「わ」だけではなく、様々なイベントの舞台となってきた公民館です。イベントを支えた公民館も、まさに"功労"賞ですね！

「もう8年！」

演劇を通して鹿野町の活性化につながればという思いで立ち上げた劇団「わ」。みんな素人で、どうやって演劇を作り上げていくかもわからないまま手探りで8年間やってきました。今回の受賞は、公演後、笑顔で帰って行かれるお客様に支えられてのものだと思っています。

「まだ8年！」

これからも、劇団「わ」、どうぞよろしくお願いします。

(代表 亀谷三千代さんより)

受賞を 迎えて



劇団「わ」は、**鹿野を舞台とした創作劇の脚本・大道具・小道具まで全て手作りし、地域住民の協力を得、一丸となって公演を行い、地域の町づくり・文化の発信に貢献したという実績を評価され、今回の受賞となったわけ**です。

劇団スタッフだけではなく、この鹿野という地域、そこに住む住民、そして、劇を見に来てくれた観客.....そうしたすべてのものが、今回の受賞に貢献しているのだと思います。

まさに**鹿野全体の力で得ることのできた賞**だと言えるのではないのでしょうか。

第8回公演スタッフの集合写真です！

来年も、きっと素敵な演劇を皆様にお届けしてくれることと思います



昨年の文化振興賞受賞者

こちらの2名の方は、昨年この賞を受けられた方々です。

どんな功績を残されているのでしょうか？ 一緒に、ご紹介いたします！



原田美智子さん（雅号：山村若津智）

平成6年に発足した「鹿野文化協会日本舞踊部」の発足に多大な貢献をされました。また、地域行事では振付指導を行い、公民館などでの舞踊指導では長年の技術を生かした熱心な指導で多くの後進の育成にご尽力されています。

倉増主計さん

周南文化協会発足の際、旧鹿野町の意見集約・統一に尽力され、地域と中央のパイプ役として協会発展に寄与されてきました。また、鹿野地区文化祭の実行委員長として他団体との連携を図り、一つにまとめあげた功績を認められ、教育委員会より推薦を受け、受賞されました。



昨年の文化奨励賞受賞者

周南市にゆかりが深く、過去1年間において特に奨励するに値する功績・活動を行った、もしくは優秀な成績を収めた方に贈られます！



河村よし子さん

平成元年に日本版画会展で初入選、以後毎年出品、現在日本版画会会員。東ちちぶ版画フォーラムなどにおいて、藁屋根の古民家を黒一色で表現した独自の作風で数々の賞を受賞されています。

旭日双光章受章者インタビュー

鹿野に勲章を受けられた方がいる！

そう聞いて、文化特集を行う「くちコミ」としても、是非ご紹介をさせていただくため、取材を行うことにしました。

地方自治への功労が認められ受章されたのは、現在は鹿野地区社会福祉協議会の会長を務められている石川光生さんです。

石川さんは、旧鹿野町が今の周南市になるとき、つまり二市二町の合併の際に町議会で議長を務められていました。

議員時代には産業振興や生活基盤の整備のため鹿野地区の隅々まで目を配ってこられたのですよ。

そんな石川さんに議長時代の思い出を聞くと、一番の思い出はやはり合併時のことなのだそうです。

県内でも先駆的に合併を推進し、下松市を含めるかどうかなど、数々の問題を抱えながら誕生した周南市。

その周南市ができるまでには、きっと我々には想像もできないようなご苦労があったのではないかと思います。



石川さんは「今回の受章は決して自分ひ

とりがいただいたのではなく、私を支援して下さった多くの皆さん

を代表して、受章させていただいたものです」と言われていました。

たくさんの方々のご苦労、尽力、そしてそれをまとめてこられた石川さんのご努力が、この勲章にはこめられているのですね。

こうして作られた新しい“鹿野”を、これからもみんなんで盛り上げていきましょう！

まめちしき

きょくじつそうこうしょう
旭日双光章って？

いわゆる勲章の一つで、国家や公共に対し、顕著な功績を挙げた方を対象にしたものです。

町づくり応援団“えーる”
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第10号～（平成21年11月29日発行）

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



第 1 1 号 (平成 21 年 1 2 月 2 8 日発行)

鹿野の寒さに輝く "三白"・山代和紙

1 2 月もずいぶんすぎて、すっかり冬ですね！ そろそろ雪も降ってきそうな毎日です。鹿野の冬は特に厳しいですが、その寒さの中で伝えられた"冬の名物"があるんですよ。

ちょっと歴史のお話になりますが、江戸時代に長州藩が押し進めていた"三白政策"というものがあります。

米・塩・紙の生産を奨励し、財政を立て直そうという政策なのですが、鹿野地区ではそ

のうちの一つである「紙」、山代和紙が今でも作られているんですよ。

山代和紙の生産は明治維新の頃からしだいに少なくなって、終戦後には一度途絶えてしまいました。

その和紙製作を昭和 5 4 年に復活させたのが、柏原にある「鹿野高齢者生産活動センター」なんですよ。

これがおなじみ、高齢者センターです。和紙の他にも、ボン菓子、こんにゃく、わさび漬けなどの食品や、ぞうりや俵、竹細工など、色々な物品が作られているんですよ。



この時期になると必要なしめ飾りも作っているんですよ！
1 2 月はとても忙しいんだそうです。



山代和紙の製作風景

ここでは、実際の製作風景をご紹介します！

たかが紙、されど紙。その製作にはとても多くの手間がかかっているんですよ。まずは和紙の原料になるコウゾとミツマタ、そして紙をくっつける糊になるトロロアオイを栽培するところから始まります。トロロアオイは2年もかけてやっと糊として使えるそうです！ 天候不順で、和紙が漉けない年もあるのだとか……。

こちらは、原料を蒸してきれいにほぐしていく作業です。

この作業は地味ながらとても大事で、和紙がきれいにすけるかどうかはこの工程をいかに丁寧にやるかにかかっているそうです。適当にやっていると、きれいな和紙にならないんですって。



こちらが和紙を漉いている風景です。

1～3月で、1年分の和紙をすいてしまうのだとか。

和紙を作るコツは、腰と肩なのだとか。

和紙をすく「す」は、水と和紙とが乗るとかなり重くなるそうで、その重さに耐える体力も大事なんですよ！

また、和紙すきには冷たい山水・井戸水がぴったりなのだそうです。水道水では「ぬるい」というのにはびっくりでした！

この和紙は、すき上がった時はもちろん真っ白です。その和紙に、こうして色をつけていらっしゃる原田チドリさんに、その力作を見せていただきました！これらの紙は、原田さんとその後継者の方とで染色したものなのだとか。

染色の技法には、紙を揉んで染色する"絞り紙"と、"板染紙"と呼ばれる2つの技法があるんですよ。



しほ
絞り紙



いたじめ
板染紙

原料作り、紙すき、そして染色……その一つ一つが、たくさんの人の力で出来上がっているのだとしみじみと感ずることができました。

皆さんも、こうしてできた伝統の山代和紙を、ちょっと手にとってみませんか？

和紙すきインタビュー

ここでは、和紙をすいているお二人へのインタビューを紹介します！

たきこ
原田 瀧子さん

原田さんは、11年ほど前から高齢者センターで活動され、野菜の担当と和紙の担当を行いながら、数年前より和紙をすく時期には、和紙すき専属として活動されています。

- : 下準備の大変さですね。コウゾを蒸してきれいにしておかないと、うまく和紙がすけないんですよ。
- : 自分がすいたものを干して、出来上がった紙を見ることですね。それに、和紙すきを支えてくれるセンターの雰囲気にも助けられています。
- : 和紙の「よさ」をもっと広めていってほしいです。とても期待しています！



インタビュー内容

- : 山代和紙を作っているの苦労はなんですか？
- : 山代和紙を作っていて楽しいことはなんですか？
- :
- (原田さんへ): 長弘さんへの一言をお願いします。
- (長弘さんへ): 山代和紙の未来について一言をお願いします。

和紙について、以前より興味があった長弘さん。婦人会で原田さんと一緒に行動されたとき、山代和紙の後継者を探しているという話を聞かれたそうです。

自身の第2のライフワークとしての意味もこめて、今年の2月から紙すきに関わられておられます。

- : 寒い時期に冷たい水を使うことですね。
- : 和紙をすいていると、吸い込まれるような不思議な魅力を感じるんです。白い紙ができていくのは気持ちいいですね。白い紙に、心が清められていくような感じがします。
- : 自分のできることから、和紙のよさを伝えていきたいです。色々な所で和紙のことを伝えていこうと思います。センターの方々に支えられるからやっていける「一人ではできない仕事」だと思います。

長弘 京子さん

山代和紙のこれから

今回は鹿野に昔から伝わる山代和紙を紹介してきました。

はるか昔、江戸時代からこの場所で作られ続けてきた山代和紙。伝統工芸品として伝えられてきたこの和紙は、これからの未来に、どんな風に息づいていくのでしょうか？



平安・鎌倉の時代には、和紙は障子紙や、写真のような懐紙として使われていました。



和紙に色をつけるという行為も、昔から行われてきました。染色にも、何百年という歴史があるんですよ。

今はもちろん、工場で大量生産された洋紙が主流です。昔ながらの和紙のように、手で一枚一枚すくのでは、生活の中で大量に使うことは難しいと思います。

ですが、和紙は昔から絵巻物など、色々な芸術にも使われてきました。大量に使うことはできないけれども、手すき和紙独特の感触・風合いを持つ和紙は、伝統的な使い方はもちろん、様々な芸術作品の材料としてもまだまだ意味を持っているのではないのでしょうか。

右の写真は、山代和紙を使って作られたちぎり絵です。こうした作品にも、和紙ならではの良さが光っているように思います。



和紙を使って様々な芸術作品を作って、それをひとところに展示してみても面白そうですね。

和紙はまだまだ、この現代社会でも元気に息づいていけると思います！

町づくり応援団“えーる”
で検索しても出てきます！

～くちコミ 第11号～(平成21年12月28日発行)
発行者：町づくり応援団“えーる”
URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のためのロコミ情報ペーパー



くちコミ



号外！

こがねい

おさむ

黄金井 脩さんのライブ開催！



このコンサートは、7年前に黄金井さんのファンの方が、漢陽寺さんをコンサート会場として推薦されたことがきっかけで始まりました。

黄金井さんは清流通りが名水百選に選ばれた際もコンサートを催してくださったり、3回目のコンサートの時に作られた、周南市のことを歌った歌には鹿野の清流のことを盛り込んでいただいたりもしています。

会場となる漢陽寺さんの「曲水の庭」です。最初はこの庭に小さなステージを作り、公演が行われました。回を重ねるごとに盛り上がりを見せ、今回はこの塀をまたぐほどの大きなステージを有志でくみ上げ、行われるそうです。住民の皆も、こうした形でコンサートに参加しているんですね！



黄金井さんってどんな人？



広島の大島神社高舞台で演奏を許された、唯一の現代音楽奏者。CMにも参加されていたりするんですよ！

日時 平成21年7月4日(土)

開場 17:30

開演 18:30

会場 鹿苑山 漢陽寺(鹿野上2872)

当日券は2,500円にて販売されています。詳細は漢陽寺までどうぞ！

詳細は黄金井さんのホームページ「Blue Asia」でどうぞ！
「黄金井脩」で検索すると出てきますよ

～くちコミ号外～

平成21年7月3日発行

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：

http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



号外！

(平成 21 年 9 月 15 日発行)

町づくりについて話し合ってみませんか？

日頃から、「もっとこうした方が住みやすくなりそうなのに」とか、「こういうことが変わってほしいのに」と思っていることはありませんか？

今回は、そうした思いを持った方を対象に、西河内にある喫茶店「かつうら」さんをお借りして、ざっくばらんに話し合えるような場所を持ちたいと思います！

日頃思っている小さなことの中に、町をよくするためのヒントが隠されているかもしれません。まずは、ちょっと足を運んで色々と話してみませんか？



“町づくり”と身構えずに、気軽な気持ちで参加してみたいかがですか？

こうした集まりの中から、新しい友達ができたりもするかもしれませんよ！

ご案内

日時：9月25日(金) 18:30～

場所：Cafe かつうら

対象：興味のある方なら誰でもどうぞ！

高速道路の料金所からまっすぐにある「福田果樹園」さんを通り過ぎ、この場所で右折してください！



～くちコミ 号外～ (平成 21 年 9 月 15 日発行)

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



号外！

(平成21年10月14日発行)

地域デビューしよう！ イベントレポート

先月の13日、ふるさと振興財団様の主催する「地域デビューしよう！」というイベントが鹿野で開催されました。この号外では、そのイベントの様子とまとめをご紹介します！



コアプラザかの

イベントの集合場所・基点はこのコアプラザかのを使用させていただきました。
ここでイベントの説明を行った後、実際に鹿野の町へと移動することになります。

清流通り・漢陽寺（潮音洞）

観光ボランティアガイド・藤永さんのご案内を受けながら、鹿野総合支所より清流通りを散策しました。
様々な話をうかがいながら、最後は潮音洞の出水口のある漢陽寺へと向かいました。



農家レストラン「たぬき」・宝作神社・宝作観音

昼食は渋川の農家レストラン「たぬき」にていただきました。
レストランの設立までの経緯や、本当に宝くじが当たった「宝作神社」などのお話を聞くこともできました。

裏面へ続く……



鹿野の「岩」

「たぬき」から再び清流通りへと戻る道にある3つの「岩」である、「川が好き」句碑"、"石船"、"ライオン岩"の見学を行いました。

"「川が好き」句碑"前で記念撮影もおこなっています。

二所山田神社

続いて訪れた二所山田神社では、この鹿野から発祥した女子運動である「女子道」の話、そして神社に植えられた山野草の話を聞くことができました。



コアプラザかの

鹿野の町をめぐり終わり、再びコアプラザに戻ってきた時には14:10になっていました。

鹿野の民話について、倉富良枝さんよりお話を伺いました。

まとめ

民話を聞いた後、同じくコアプラザかのにてイベントの締めくくりとしての「一日のまとめ」を行いました。

その中で、

- ・「清流通りや、店の木々には表札などをつけて、名前などがわかればよかった」
- ・「標識が不親切な気がする。巨大な案内マップがあって、説明があっても良いのでは」
- ・「町のマップの主旨（観光を訴えるのか、鹿野の良いところを訴えるのか）をはっきりさせるべき」

など、様々な意見をいただくことができました。

今後の活動に、今回のイベントで得たものを生かしていきたいと思えます！

～くちコミ 号外～（平成21年10月14日発行）

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



号外！

(平成21年10月17日発行)

町づくりの話し合いを行いました！



先月の号外でご案内した町づくりの話し合い、第1回目の話し合いには4の方が参加し、色々な意見を交わすことができました！

その中で、"鹿野の飲食店・観光地マップ"を作ってみてはどうだろうか？ というものが出てきました。皆さんがファーストフード店に行かれたとき、トレーの上にちょっとした記事を載せた紙が乗っているのを見たことがあると思います。

そうした記事は、食事の待ち時間などについつい目を通してしまったりするものです。これを、鹿野の飲食店情報に利用できないかな？ という話になりました。

鹿野の町にも色々なお店がありますし、「今度はこのお店に行ってみよう」と思えるような、ちょっとした情報を皆様に提供できればいいな、と思います。

鹿野を訪れてくれた皆様にとって、「また鹿野に来てみたいな」と思えるような企画になれば幸いです。もし、色々なアイデアをお持ちの方がいらっしゃれば、次回の話し合いに参加してみませんか？
飲食店を経営されている方のご参加も、お待ちしております！

第2回のご案内

日時：10月23日(金) 19:00～

場所：Cafe かつうら

対象：興味のある方なら誰でもどうぞ！

高速道路の料金所からまっすぐにある「福田果樹園」さんを通り過ぎ、この場所で右折してください！



～くちコミ 号外～(平成21年10月17日発行)

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



号外！

(平成21年11月19日発行)

観光・飲食店マップ作成の続報です

第一回(9月25日)で「観光・飲食店マップを作ってみないか?」という話が出ましたが、第二回(10月23日)に行った話し合いには、5名の方が参加され、そのマップ作成についてもっと深く話を進めてみました!

その中で、

- ・「イベントカレンダーを載せてみてはどうだろう」
- ・「季節ごとに内容を更新してみてはどうだろう」
- ・「観光コースを作って、コースを回る所要時間を書いてみてはどうだろう」

など、色々な意見をいただくことができました!

10月の話し合いを行い、より良くマップ作成について練りこむことができましたと思います。

これも、集まった皆さんの意見があつてこそそのものだなあとしみじみ思います。

マップは2010年の4月頃をメドに、第一号を発表する予定です。

まだまだ話を煮詰め、より良く使いやすいマップを作り出せればと思います!

一緒に「鹿野のマップ」を作ってみませんか?

話し合いの参加者も、まだまだ募集しています!

第3回のご案内

日時: 11月27日(金) 19:00~

場所: Cafe かつうら

対象: 興味のある方なら誰でもどうぞ!

高速道路の料金所からまっすぐにある「福田果樹園」さんを通り過ぎ、この場所で右折してください!



~くちコミ 号外~(平成21年11月19日発行)

発行者: 町づくり応援団“えーる”

URL: http://straynotes.net/machi_ouen.html



住民の 住民による 住民のための口コミ情報ペーパー



号外！

(平成21年12月25日発行)

町づくりマップ、作成に入ります！

第1回で話にあがった、町づくりマップについて具体的に進展することができました！

- ・部数について
- ・協力をお願いしたいお店のリストアップ

以上の作業を終わらせることができました。

マップのレイアウト草案が完成し次第、各店舗への協力依頼を行おうと思います。完成は前号で記載したとおり2010年の4月の予定です！

また、マップ以外にも、

- ・廃材を利用したインテリア、家具の製作について
- ・古民家の再利用について

以上2点についても、有益な話し合いができたように思います。

鹿野地区には取り壊しをしなければならない建物や、すでに人がおらず利用されていないけれど、まだまだ人の住める民家など、たくさんの「まだまだ現役」な宝物が眠っています。そうした宝物にも、是非がんばってもらいたいと思います！こちらについても、今後進展が見られたときに、改めて報告しますね。

12月の話し合いは、年末であること、雪が降る可能性を考えて行いません。また来年、皆様とお話できることを楽しみにしています。

それでは、よいお年を！

～くちコミ 号外～(平成21年12月25日発行)

発行者：町づくり応援団“えーる”

URL：http://straynotes.net/machi_ouen.html

